

瑞穂ケーブルテレビ株式会社

平成 27 年度 第 8 回番組審議委員会

《議事録》

平成 27 年 12 月 9 日

局長 田中洋子

日時：平成 27 年 12 月 9 日（水）18：30～

会場：たかはしや

【出席者】

猪俣恒明（委員長） 細渕浩昌 井上 明 小作正人
荻野喜美雄（会長） 澤田廣造（社長） 奥田貴哉（取締役） 石井明美（監査役）
田中洋子（局長） 山崎英之 白崎吾朗 後藤彩果 高橋 寿 小山桃子

瑞穂ケーブルテレビ社長挨拶（澤田社長）

番組審議委員会は総務省の指導に基づき、番組に対するご意見等をホームページ等に掲載、公開させていただきます。

瑞穂町に於いては今年度都営アパートへの導入が決定、およそ 4000 世帯での視聴が可能となります。結果瑞穂町ホームパス世帯数の 30%導入が達成されます。

生中継は 1 月の駅伝競走大会から 11 月の産業まつりまで年間 5 回実施、地域密着の体制で番組作りを行っています。

番組に対する忌憚のないご意見をお願いいたします。

番組審議委員長（猪俣会長）

一年の経過が早いと感じている中、番組審議委員会の開催に感謝しています。

都営住宅エリアが接続されたことにより、瑞穂町との約束が達成され、公費が入る条件が満たされました。これにより益々公平公正で、町民に愛され信頼される番組作りをお願いしたい。

より良い番組作りのため、身のある会議となるよう意見を出し合いたいと思います。

【審議事項】

1、レギュラー番組内容について（山崎社員）

DVD 視聴に沿って番組紹介

ニュース番組「ほっと！みずほ」・情報バラエティ番組「みずほまち通信」
散歩番組「ぶらり瑞穂の裏道」・イベント紹介番組「ズームアップ！みずほ」
インタビュー番組「この人に聞く」・こどもサイエンス番組「科学で遊ぼう！」
部活紹介番組「みずほ熱血クラブ！」・歴史番組「ふるさと歴史探訪」

取材数 897 本（年間）取材内容ジャンルを問わず話題性のあるものをピックアップ。

町内の出来事に特化、町内の多くの人たちを放送に乗せる。

2、生中継番組説明（山崎社員）

年間 5 回 イベント中心に生中継実施。

1 月：瑞穂町駅伝競走大会

5 月：残堀川ふれあいイベント

7 月：三地区合同夏まつり

8 月：みずほサマーフェスティバル

11 月：瑞穂町産業まつり

その他スポーツ収録

3 月：瑞穂ケーブルテレビ杯少年野球

10 月：町民体育祭（27 年度は雨天中止）

基本的に、瑞穂町内の大きなイベントはすべて放送。

より良い映像を配信できるよう、毎回新たな試みをおこなっている。

3、新番組等の企画について（山崎社員）

「みずほ熱血クラブ」：何かに打ち込んでいる人たちを紹介

「ふるさと歴史探訪」：瑞穂町の歴史を紹介（4K 撮影）

「スマイルスタジオ」：グループ 4 局合同制作

4、特別番組について（山崎社員）

・年末特番

・年始特番

・瑞穂中学校吹奏楽部金賞受賞

・戦争体験（瑞穂町役場企画）

・瑞穂町議会一般質問の様子を、議会開催の翌週月曜日より放送

5、他社制作番組

- ・東海大学制作「知のコスモス」
- ・中央大学制作「多摩探検隊」「知の回廊」
- ・日本ケーブルテレビ連盟制作番組

6、瑞穂ケーブルテレビ サービス内容紹介（白崎社員）

主軸のテレビ・インターネット・ケーブルプラス電話サービスに続き、第4のサービス：格安スマホ「スマイルフォン」サービス開始
地域密着で訪問サービスが可能のため、高齢者に好評。
自社ひかり回線サービスは都内唯一、顧客満足度アップを目指す。
S・TVBOXやタブレット・ipad ミルプラスなど多彩なサービスを展開中

6、意見交換

荻野：瑞穂町はイベントが多い町との印象があり、グループ4社の中でも一番多い。

山崎：町内のイベントはもちろん、学校関係の取材は入学式・卒業式を初め体育祭など
視聴者のすそ野が広がるような取材を意識している。

瑞穂中学の吹奏楽部全国大会出場に際し、「ドキュメンタリー番組」を制作

細淵：吹奏楽部の先輩卒業生として応援し、町民に広く展開してほしい。

山崎：「ふるさと歴史探訪」を4Kカメラで取材放送を実施。

澤田：4Kの映像を受信するためのテレビの準備も必要になります。

猪俣：番組内でお店紹介をしているが、放送後来客数の増加等がありますか。

田中：視聴者より、同じものを購入したり、番組で紹介した場所に行ってみたとの声を聞くことがあります。

猪俣：学校関係の取材が多いのに、町内の学校にケーブルテレビが導入されていないのは不自然ではないか。

田中：学校現場からも取材されたものを視聴したいとの声を多く耳にしているため、是非導入へと考えています。

荻野：入間市内の学校はすべて導入しているので、瑞穂町も導入してほしい。

田中：同軸ケーブルからひかりケーブルに環境が変化したことにより、距離の問題が無い
ため、町内7校すべてに導入可能となりました。

細淵：学校は災害時の避難場所にもなっているため、学校へ導入は是非実施してほしい。

小作：瑞穂町でも、27年度、28年度に向け予算も検討中

井上：町内会の集会所には、導入されていないんですか。

田中：元狭山コミセン、長岡コミセン、殿ヶ谷「いこい」等に導入しているが、各集会所
には未導入です。只、コミセンのロビーに設置しているケーブルテレビチューナー

は普段ほとんど OFF になっているため、コミセンに来場した方が視聴できていません。
瑞穂の話題が視聴できる環境を生かしてほしいと思います。

7、瑞穂ケーブルテレビ会長挨拶（荻野会長）

審議委員様の貴重なご意見をいただきありがとうございました。

瑞穂町の皆様には開局よりご支援をいただき、お陰様で町内での存在感が確実に増してきていると実感しています。

今後も「ひかりサービス」の普及を始め、瑞穂町 IT 化のけん引役として、様々な新サービスを展開してまいります。

以上貴重なご意見を頂きました。

本審議会のご意見は、番組に反映させてこそ開催意義が生じます。社員一同、貴重なご意見を番組作りに展開してまいります。